

# 令和6年度一般会計予算

# 310億3,000万円

財務課 ☎43-5210

## 一般会計歳出(性質別)

| 項目      | 予算額         | 構成比    |
|---------|-------------|--------|
| 人件費     | 50億4,729万円  | 16.3%  |
| 物件費     | 50億1,748万円  | 16.2%  |
| 補助費等    | 49億5,274万円  | 16.0%  |
| 普通建設事業費 | 46億9,091万円  | 15.1%  |
| 扶助費     | 32億8,501万円  | 10.6%  |
| 公債費     | 31億7,826万円  | 10.2%  |
| 繰出金     | 21億9,337万円  | 7.1%   |
| その他(注)  | 26億6,494万円  | 8.5%   |
| 合計      | 310億3,000万円 | 100.0% |

(注) 維持補修費、予備費、積立金、投資・出資・貸付金

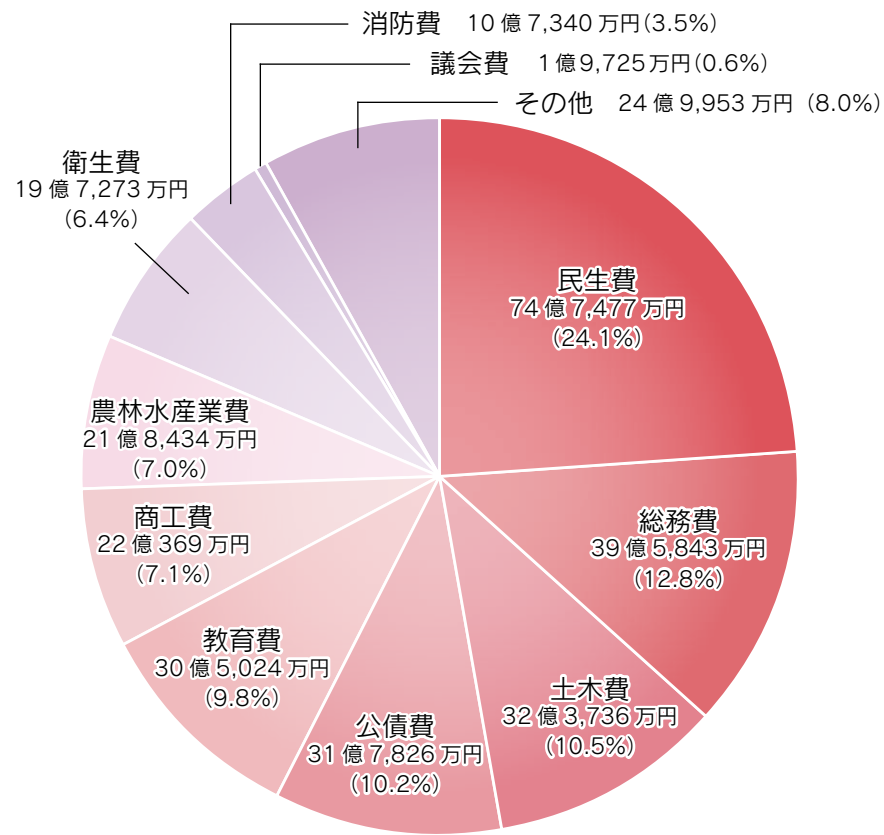
**◆歳出**  
 民生費は、児童手当、出産祝金の拡充や障害者福祉関係扶助費、生活保護医療扶助費の増などにより前年度より増額の74億7,477万円となっています。  
 教育費は、小中学校施設改修事業費やアフタースクール事業費、学ぶ楽しさ支援センター管理運営事業費の増などにより前年度より増額の30億5,024万円となっています。  
 商工費は、大鳴門橋周辺環境整備事業費や大阪・関西万博関連事業費の増により、前年度より大幅増の22億3,699万円となっています。  
 衛生費は、旧火葬場解体事業や広域ごみ処理施設整備事業費の増により、前年度より増額の19億7,273万円となっています。

**◆歳入**  
 市税は、個人住民税において給与所得増による増額を見込む一方、国の定額減税の影響を受け減額を見込んでいます。法人税においては製造業の好調による増額を見込んでいます。固定資産税においては家屋の評価替えなどにより減額を見込み、全体では56億3,461万円となっています。  
 地方交付税のうち普通交付税は、市税等の収入増がある一方で、代替財源である臨時財政対策債への振替額が42億7,000万円減となったことや人件費等の需要増が見込まれることから増額となり、84億円となっています。  
 市債は、灘黒岩水仙郷リニューアル事業や治水総合対策事業の減などがある一方で、大鳴門橋周辺環境整備事業、広域ごみ処理施設整備事業、排水対策事業、小学校音楽室等空調設置事業の増などにより31億3,320万円となっています。

令和6年度は政策の柱である「五つの行動」のそれぞれの取り組みを更に改善・強化し、「担い手確保と移住・定住施策の一体的な推進」、「大阪・関西万博を契機にした観光振興」、「地域社会とつくる魅力ある子育て環境」の3つのカテゴリに予算を重点的に配分しました。重点化と継続性に配慮しつつ、人を呼び込み・育む「未来の担い手拡充予算」とした予算編成の結果、一般会計予算額は310億3,000万円となりました。

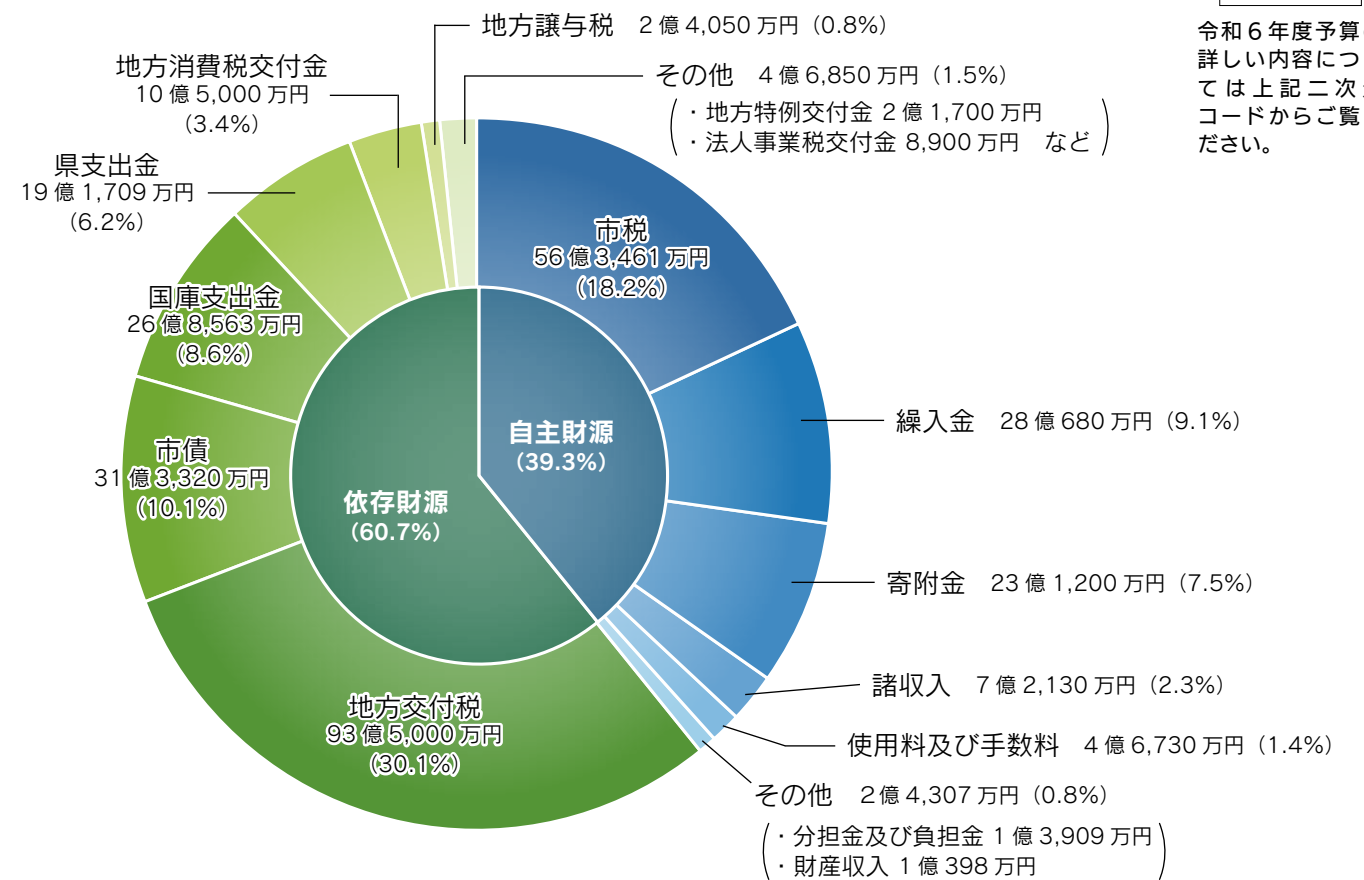
歳出 310億3,000万円

※( )内は構成比



歳入 310億3,000万円

※( )内は構成比



令和6年度予算の詳細な内容については上記二次元コードからご覧ください。

## 特別・企業会計

| 項目        | 予算額         | 前年度比   |
|-----------|-------------|--------|
| 国民健康保険    | 63億8,755万円  | +2.4%  |
| 後期高齢者医療   | 8億9,304万円   | +10.2% |
| 介護保険      | 50億3,190万円  | +0.2%  |
| 土地開発      | 365万円       | -0.1%  |
| 産業廃棄物最終処分 | 7,849万円     | -1.2%  |
| 国民宿舎      | 2,327万円     | +5.1%  |
| 下水道       | 59億6,273万円  | +2.7%  |
| 財産区4会計    | 1,717万円     | +2.3%  |
| 合計        | 183億9,780万円 | +2.2%  |

## 基金(貯金)残高の見込み

|      | 令和6年度末      | 市民1人当たり   |
|------|-------------|-----------|
| 一般会計 | 128億6,999万円 | 29万600円   |
| 特別会計 | 19億4,839万円  | 4万4,000円  |
| 合計   | 148億1,838万円 | 33万4,600円 |

## 市債(借金)残高の見込み

|      | 令和6年度末      | 市民1人当たり    |
|------|-------------|------------|
| 一般会計 | 331億8,790万円 | 74万9,500円  |
| 特別会計 | 9,157万円     | 2,000円     |
| 企業会計 | 250億1,602万円 | 56万5,000円  |
| 合計   | 582億9,549万円 | 131万6,500円 |

※市民1人当たりの額は、令和6年2月末住民基本台帳人口44,280人で算出

**歳出内訳の用語解説**  
 ① 民生費 高齢者福祉や少子化対策など  
 ② 総務費 一般事務経費や市役所の管理など  
 ③ 土木費 道路や河川・公園の整備・管理など  
 ④ 公債費 借入金(市の借金)の返済金  
 ⑤ 教育費 幼稚園・小中学校の整備、文化・スポーツ等の振興など  
 ⑥ 商工費 地域商工業の振興、観光事業の促進など  
 ⑦ 農林水産業費 農林水産業の振興、ほ場整備、鳥獣被害対策など  
 ⑧ 衛生費 保健衛生やごみ処理など  
 ⑨ 消防費 防災対策や市消防団による消防・救急活動など  
 ⑩ 議会費 議会の運営など  
 ⑪ その他 労働費、諸支出金、災害復旧費、予備費など

**歳入内訳の用語解説**  
 ① 地方交付税 地方の財源の均衡を図るため国から交付されるお金  
 ② 市債 事業をする際に銀行等から借りるお金  
 ③ 国庫・県支出金 事業に対する国・県からの補助  
 ④ 地方消費税交付金 地方消費税の一部を財源として、県から交付されるお金  
 ⑤ 地方譲与税 国税として徴収され、一律的に譲与されるお金  
 ⑥ その他 地方特例交付金などの交付金

**◆自主財源(39.3%)**  
 皆さまに納めていただく市税や施設使用料など、市が独自で調達するお金  
 ① 市税 市民税や固定資産税など  
 ② 繰入金 基金(市の貯金)の取り崩しなど  
 ③ 寄附金 南あわじ市ふるさと応援寄附金など  
 ④ 諸収入 貸付金元利収入や預金利息など  
 ⑤ 使用料及び手数料 公共施設の使用料など  
 ⑥ その他 分担金及び負担金、財産収入など